

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	生物資源学部 生物圏生命化学科
学年(出発時)	3
大学名	高雄師範大学
国	台湾
留学期間	2023/02～2024/02
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	起床
9:00	授業
10:00	授業
11:00	授業
12:00	昼食
13:00	図書館で自習
14:00	図書館で自習
15:00	図書館で自習
16:00	市内散策
17:00	部活
18:00	部活
19:00	夕食
20:00	友人と過ごす
21:00	部屋で自習
22:00	自由時間
23:00	就寝
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
基礎華語	1	2	中国語	レポート, プレゼン, 期末テスト
腫瘍学	1	2	英語	小テスト, 期末テスト
体育(バレーボール)	1	2	中国語	バレーボール

大学のサポート	
チューターの有無	有
チューターのサポート内容	空港の出迎え, SIMカード購入の手伝い, 引っ越し
語学コースの有無	有
コース名、料金、期間等	語言中心(週15時間, 無料, 平日のみ)

生活	
住居のタイプ	男子寮4人部屋
住居の名前	逸清楼
部屋タイプ	4人部屋二段ベッド二つ, 個室なし
ルームメイト(国籍)	台湾, マカオ, チェコ
室内設備	個人机, 浴室(トイレ, シャワー, 隣の部屋と共同), 冷房, Wi-Fi, クローゼット
共用施設	電子レンジ, 給水機
インターネット設備	有
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	徒歩
アルバイトの有無	無
アルバイトの内容	

渡航	
Visaの種類	居留ビザ
Visa申請先	台北駐大阪経済文化弁事処
Visa取得にかかった日数	2週間
Visa取得にかかった費用	Visa手数料6900円
Visa取得方法、提出書類等	日本で得た居留ビザだけではなく台湾に行ってから移民署に申請する書類がある。留学先の大学の入学許可証が本体である必要があるため取り寄せた。その他必要書類数枚。
留学先大学の最寄り空港までの経路	高雄師範大学→徒歩10分→大学最寄りのMRT駅(文化中心)→美麗島駅で乗り換え→MRT高雄国際空港駅(空港直通)→高雄国際空港
渡航費用	約3万円
ピックアップサービスの有無	有

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	有
有る場合、その理由	単位互換の都合
就職活動開始時期	未定
帰国後の進路	大学3年生

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	1台湾ドル＝4.6円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	約10万円
学費(教科書代や語学コース授業料等)	約1万円
宿舍費(月額)	約6000円
光熱費(月額)	なし
食費(月額)	30000円
その他	
留学期間中にかかった費用の合計	約60万円

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

英語が話せれば中国語ができなくても台湾での生活に苦労しないだろうと考えていましたが高雄にはほとんど英語を話せる人がいませんでした。語学学校が始まるまでスマホの翻訳画面を見せないと、独学の発音では意思疎通ができませんでした。またこれから住む環境が日本と違いすぎて不安が大きかったです。

語学学校が始まってからはめきめきと中国語の理解度が上がっていききました。上記の反省から発音を強化したいと思い、クラス分けテストは受けずに一番下の基礎Ⅰクラスから始めました。日本人が複数いるクラスだったので、先生が漢字の書き取りの練習を少な目にしてくださいました。高雄師範大学の語言中心では3か月に一回の学期変わりに飛び級制度があり、飛び級試験に合格すれば、普通ならば基礎Ⅰの次の学期は基礎Ⅱと一つずつ上がるところ、初級Ⅰに行くことができました。しかし飛び級試験を受けるにはクラスで一番良い成績を修めなければならなかったもので、簡単な内容でも自分から発展させて勉強していました。

初級Ⅰのクラスの内容は先生の教える内容が正直簡単すぎで(基礎Ⅰとあまり変わらず)、どちらかというとクラスメートと討論する時間が増えたことによるスピーキング能力の向上が主な成果でした。全員が初学者だった基礎Ⅰクラスと違い全員中国語を話せたのでクラスを上げてよかったとその点では感じました。その学期でも首位をとり再び飛び級試験をうけて中級Ⅰまで進みました。

中級Ⅰの先生は語源中心で一番ベテランの先生で、教科書では習わない台湾人が実際に使う生きた中国語を教えていただきました。その分授業の内容は跳ね上がり、ハイレベルな環境で学べました。生徒のレベルも高かったため次の学期は飛び級試験は受けられませんでした。先生が自分に合っていたため、結果的には変わらなくてよかったです。

語源中心の授業だけではクラスメイトも外国人なのでどうしても会話の内容が簡単なものになってしまうので、留学先の大学のバレーボール部に所属していました。部員はみな優しくて拙い自分の中国語も話し終わるまで待ったりしてくれました。このバレーボール部に入っていなかったら台湾人と中国語を話す機会は比較的少なくなかったと思います。

今後留学する人へのアドバイス

留学生活はボーっとしているとあっという間に過ぎてしまいます。自分から行動することを心がけて一日一日を大切に過ごす満足いく留学生活だったと後で自分で感じられると思います。

報告書記入日

2024年2月29日